

会 議 録

1 会議名

平成27年度第3回安塚区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

1) 協 議（公開）

- (1) 平成27年度上越市地域活動支援事業（安塚区）追加募集の審査について
- (2) 安塚区地域協議会としての審議内容について

2) 協 議（公開）

- (1) 下水道使用料及び農業集落排水使用料の改定について

3) その他（公開）

- (1) 平成27年度安塚区地域協議会視察研修について

3 開催日時

平成27年7月8日（水）午後7時00分から午後8時50分まで

4 開催場所

安塚区総合事務所3階301会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・ 委 員：外立軍一郎（会長）、數井憲一（副会長）、池田三、岡秀實、小松光代、
中島勝義、長谷川直樹、山岸重正、和栗喜栄、和栗昌夫
- ・ 浦川原区総合事務所：春日産業グループ長、竹内建設グループ長
- ・ 事務局：安塚区総合事務所 蓑輪所長、小林次長、滝沢市民生活・福祉グループ長
（併教育・文化グループ長）、國保班長、高橋主任
（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【小林次長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の

出席を確認、会議の成立を報告

- ・会議録の確認：外立会長

【外立軍一郎会長】

- ・挨拶

協議事項（１）平成２７年度上越市地域活動支援事業（安塚区）追加募集の審査について事務局に説明を求める。

【高橋主任】

資料No.1により説明。

平均点が１５点以上なのは２事業、平均点が１５点に満たないものは８事業である。平均点が１５点以上の２事業の申請金額の合計は３９万円である。

参考資料の募集要項の裏面、３審査基準にもあるように、「採択事業の補助金額の総額が配分額に満たない場合は、平均点が１５点に満たない事業であっても採択する場合がある」とある。

安塚区では追加募集は２次募集までとし３次募集は行わない。このことも踏まえて、平均点が１５点に満たない事業の取扱も協議いただきたいと思う。

【外立軍一郎会長】

平均点が１５点以上ある２つの事業は採択要件を満たしている。この２つの事業について、採択することとしてよいか。

【山岸重正委員】

採択しても良いと思うが、沼木の里づくり推進事業のお茶代について検討いただきたい。こういうのは、除いていただきたい。

【小松光代委員】

お茶代を除いた分で採択したらどうか。

【岡秀實委員】

軍手もどうかと思う。

【池田三委員】

この事業について、地域活動支援事業を活用するのは悪いと思わないが、他に活用できる事業として、中山間地域直接支払事業、多面的機能支払交付金があるが、本来であればこちらを活用すべきではないか。それと今言われるように、軍手とお茶代は除いた方がいいと思う。

【外立軍一郎会長】

他の事業については、総合事務所の受付を通っているのですが、私はいいのではないかと思います。軍手とお茶についてはどうするか。ほかに意見がなければ、軍手とお茶代を除いて採択することとして良いか。

（「はい」の声あり）

それでは、軍手代とお茶代を除いて採択する。

直峰城跡パンフレット作成事業は申請額どおりでよいか。

（「はい」の声あり）

それでは、申請どおり採択をする。

他に、付帯意見はないか。

（「ありません」の声あり）

付帯意見はなしとする。

補助金の残額は、281万円である。他の事業について採択するか、それとも今回2次募集なので採点結果の点数が基準を満たさないのか返金するか。そのどちらかを決定したうえで、次の段階に進みたい。

【和栗昌夫委員】

要項の中に「平均点が15点に満たない事業であっても採択する場合がある」とあるので、最低でも14点台のものを対象にするか、しないかを決定し、返すか、返さないかを決定すべきではないかと思う。

【外立軍一郎会長】

ほかに意見を求める。

【岡秀實委員】

採点結果の中に最低値が0というのが何件かある。0点というのは、どういうことか。

【山岸重正委員】

0点というのは、はじめからあった。

【高橋主任】

0点の点数について説明する。配点の考え方として、5点は優れている、4点はやや優れている、3点が普通、2点がやや劣っている、1点が劣っている、0点が評価に値しないという目安があるのでご承知おきいただきたい。

【外立軍一郎会長】

ほかに意見を求める。

【山岸重正委員】

この前もそうだと思うが、点数の多い方から採択するべきではないか。

【外立軍一郎会長】

そういうやり方もある。他に例えば、優先採択方針との適合性の状況も審議の対象としてはどうかと思う。0点の話や返したくないので、使いたいということであれば、そういうものも含めて審議してはどうか。ただ点数の結果だけを見るのではなく、その辺を踏み込んで審議していただくか、それとも結果だけを見て審議していただくか。

【山岸重正委員】

先程、和栗委員が言われたように14点台を基準として考えるべきだと思う。そうではないと、採点した人たちに申し訳ない。今までもそうやってきたと思う。15点に近いものを優先的に考えたらどうか。

【外立軍一郎会長】

それも含めて考えたらどうか。

【山岸重正委員】

それは、会長の意見だ。会長は意見を言わないで、他の委員から聞いてほしい。議長は意見を言うべきではない。

【長谷川直樹委員】

追加募集分は予算オーバーしている。当初の提案については意見交換をしたのち審査に入ったが、追加募集のときはプレゼンをしなかった。点数をつけてもらったが、時間はかかるが、1つ1つの事業について意見交換したらどうか。

【山岸重正委員】

理由は何か。

【長谷川直樹委員】

プレゼンをしなかったので、個々に提案者に対して問い合わせをした方もいるかと思うが、私は何もしないでプレゼンをしてほしいと思っていた。主旨が分からないものもあった。例えば、安塚観光協会からの提案でWi-Fi環境整備事業である。私は無知でどういうものか分からなかった。提案者の意図としているところも分からないし、不明な点が結構あった。資料だけで理解できない部分もあるし、皆さんから意見をお聞きして納得できる部分もあるので、話し合えば点数は低いですが、この部分は採択するというようなことにもなると思った。

【外立軍一郎会長】

減額の場合は実施しないとか、事業を縮小しても実施するとか、そういうところもあ

る。そういうのも含め審議していただかないといけないと思う。点数だけで判断できないと思う。14点台を採択すると16万円くらい余る。それをどこへ向けるかということになる。残金について皆さんと協議し、減額の場合実施しないというところを外さざるを得ないだろうと思うし、減額しても縮小して行うというところを採択する必要があるのかと思う。今回は金額が大幅にオーバーしていることから、点数に拘らずに決めていただいたほうがいいと思う。

【和栗昌夫委員】

今の会長の意見に賛成だ。採択、不採択の場合でもやるという一つの計画があるのなら、重要視していかなければいけない。不採択の場合しないということになれば、補助金はもらっても、もらわなくてもいいような計画になってしまうので、私は、会長の意見はごもつともだと思う。

【外立軍一郎会長】

事務局の方で何かアドバイスはあるか。

【小林次長】

皆様からご審議いただいて、ある程度の方向を示していただければと思っている。委員の皆さんからお話があったが、金額に対してかなりの提案があるので、その点も含めて今一度審議いただければと思う。よろしくお願ひしたい。

【中島勝義委員】

2次募集を出しているのだから、そんなにみんな不採択にするのもどうかと思う。私は去年、2次募集しない方がいいと言っていた。今年は、2次募集すると決定したのに次から次へと不採択にするのもどうかと思う。

【外立軍一郎会長】

採択した提案事業以外の事業を検討していく。

【中島勝義委員】

その方がいいと思う。

【長谷川直樹委員】

会長の意見に賛同する。その中でも小黒自治会高齢者いきいき支援事業とWi-Fi環境整備事業においては、不採択・減額の場合しないということなので、この2事業は外してもいいのではないか。その他の15点以下の事業について協議してもらえばよいと思う。

【外立軍一郎会長】

今、中島委員、長谷川委員から貴重な意見が出たので、審議する。

(「はい」の声あり)

【岡秀實委員】

私は0点という点数はないと思うが。

【中島勝義委員】

採択方針に一致しているかという項目があったが、適合しないとすれば0点という意味だと思う。

【和栗昌夫委員】

私もそう思う。採択してみようがない。

【外立軍一郎会長】

優先採択方針との適合性という項目がある。不適合としておいて、点数をつける場合もある。

【中島勝義委員】

不適合とするならば、点数をつける必要がない。

【外立軍一郎会長】

先程、長谷川委員から小黒自治会高齢者いきいき支援事業とWi-Fi環境整備事業を外して協議すればよいという話があったが、協議してよいか。

(「はい」の声あり)

それでは、皆さんから慎重審議していただきたいと思う。

この2事業を外すと残金はいくらになるのか。

【高橋主任】

確認だが、沼木の里づくり事業は、25万円の補助でよいか。

【外立軍一郎会長】

お茶代等外すので、25万円となる。

【高橋主任】

安塚区の配分枠の残金は、282万円になる。

【外立軍一郎会長】

それでは、イベント資材整備費支援事業から順に協議する。減額しても事業を縮小して行うとのことなので、この事業で金額を調整することでどうか。

(「賛成」の声多数あり)

この事業で外さなければいけないものがあつたら、それを外して採択いただくことで

よいか。

（「はい」の声あり）

イベント資材整備費支援事業は、最後に金額について協議する。

【和栗喜栄委員】

採点の高い方から協議したらどうか。

【和栗昌夫委員】

採点したものを重要視しなければ意味がないと思う。

【外立軍一郎会長】

そうすると、14.5点の円平坊文化伝承事業について皆さんの意見を求める。

【長谷川直樹委員】

認めてよいと思う。

【中島勝義委員】

私もそう思う。

【外立軍一郎会長】

この事業については、採択として良いか。

（「はい」の声多数あり）

円平坊文化伝承事業について採択とする。

続いて、14.2点の防火施設整備事業だが、安全性はいかがか。水を溜めすぎて畑が流されるなど無いようにしてほしい。

【和栗喜栄委員】

総合事務所からきた資料の所見に課題があったかと思う。

【小松光代委員】

課題なしになっていたと思う。

【外立軍一郎会長】

課題なしということだが、このまま採択するか。

（「はい」の声あり）

防火施設整備事業について採択とする。

続いて、14.2点のノルディックウォーキングで健康づくり事業だが、本当に活用してくれるのだろうか。

【和栗喜栄委員】

活用してもらわなければ、採択できない。

【外立軍一郎会長】

このまま採択として良いか。

（「はい」の声あり）

ノルディックウォーキングで健康づくり事業について採択とする。

【長谷川直樹委員】

これは、どのように使うのか説明していただきたい。

【外立軍一郎会長】

事務局で分かるか。

【蓑輪所長】

先日新聞の記事に掲載されていたが、スキーのストックのようなものを2つ持って、歩くものである。コツとかがあるようだが、そういう健康法である。ジョギングとは少し違うものがある。先回、安塚スポーツクラブも講師を招いて講習会を行って、非常に良かったということで、地域の皆さんに普及したいということで今回申請したと聞いている。

【外立軍一郎会長】

要するにストックのようなものを購入するということか。これも個人持ちのような気がする。

【和栗喜栄委員】

団体で購入するので、個人持ちではない。

【蓑輪所長】

もしよければ個人で購入してくださいという主旨だと思う。

【外立軍一郎会長】

そのようなことなので、理解いただけたか。

（「はい」の声あり）

先程の防火施設整備事業だが、山岸委員の町内会のホース格納庫は、どうしているか。

【山岸重正委員】

全部自治会で管理している。格納庫は自治会で持つという決まりがある。

【數井憲一副会長】

補助金は出さないという決まりがあったと思う。

【池田三委員】

今回このように認めたとなると、次年度から相当上がってくると思う。私の自治会も

全部痛んでいる。これで良ければ私も提案したい。むしろ、私は市の方に地域協議会の意見書として提出すべきではないかと考える。

格納庫は自治会で管理となっているが、その中にある品物は市役所の品物だ。それを収納するための格納庫だから、当然市が負担すべきだと判断する。

【山岸重正委員】

今回の防災施設整備についての所見において、市は良いと回答しているのだから、どうしてみようもない。

【小林次長】

今の件については自主防災組織を作られているところについては、町内会で30万円限度としてそれらのものに充てることができる。町内会を単位として、どちらを選択されるかというのは、その町内会の判断によるということ。

【池田三委員】

そういう補助金は出ているのか。

【小林次長】

自主防災組織の中の設備投資ということで、1町内会30万円を限度としてそういうものの整理ができるということになっている。

【池田三委員】

そういう補助金を使って、さらに地域活動支援事業の補助金を使うことができるのか。

【外立軍一郎会長】

それは、できない。重複して補助金をもらうことはできない。

【長谷川直樹委員】

それは今でもその制度があるのか。

【小林次長】

ある。町内会ハンドブックにも掲載させていただいている。

【外立軍一郎会長】

その制度があるならば、そちらを利用してもらったほうが良いような気がする。

【中島勝義委員】

安塚区中の必要な自治会が、その事業を使うように宣伝すればよい。

【山岸重正委員】

安塚町内会は、何か使ったのではないかと。

【小林次長】

自主防災組織等活動育成事業という事業で、資材の整備等について補助金は3分の2で補助限度額が30万円。自主防災活動ということで、5万円。合わせて35万円を限度として、1町内会につきこの限度額まで使用できる制度となっている。各町内会においては、これらの補助事業を利用して備蓄品を購入したり、あるいは救急用具の整備をされたり、選択をされている。今回市民安全課では、こちらの事業の申請でもよいし、自主防災組織等活動育成事業の補助金でもよいという回答で課題なしということになっている。

【長谷川直樹委員】

でも、その事業は1回だけ申請ができるのではないかな。

【小林次長】

はい。1回だけである。

【長谷川直樹委員】

当初募集で坊金町内会がAEDを整備した。それが今度他の集落でも入れたいと思う。だからAEDが地域活動支援事業で整備できるのなら、私も欲しいという方がいると思う。例えば、安塚町内会であってもいいと私は思うので、それと一緒になのではないかな。

二者選択で自主防災組織等活動育成事業の補助金を使用したので、この地域活動支援事業に提案したと理解してもらえば、いいのではないかな。

【外立軍一郎会長】

しかし、自主防災関係の補助金は出せないのではないかな。今年、自主防災組織等活動育成事業を使用した。足りないから、地域活動支援事業に提案した。そういう訳にはいかないのではないかな。そういうのは二者択一にならないだろう。

【小林次長】

あくまでも自主防災組織として整備する場合は、そういう形での補助制度があって、1町内会は1回しか使えない。その限度額が全部で35万円という形なので、今回の安塚町内会においては、今まで使用されていないということである。

その部分で選択されれば、こちらの方であげてもよし、向こうの方であげても良い。

【外立軍一郎会長】

まだ整備が終わらないということであれば、地域活動支援事業なら毎年もらえる可能性がある。

【小林次長】

皆様方の審議によるところである。

【外立軍一郎会長】

自主防災組織等活動育成事業は1年に1回申請すれば、あと何年か後になるだろう。

【蓑輪所長】

段階に分けても30万円に達しない分は、また使える。

【池田三委員】

次年度以降もこういった提案が上がってくる場合があると思う。

【長谷川直樹委員】

提案があっても予算の範囲内で審議すれば良いと思う。

【外立軍一郎会長】

それでは、防火施設整備事業について、採択としてよいか。

(「はい」の声あり)

防火施設整備事業について採択とする。

続きまして、12.2点のジュニアクロスカントリー選手育成のための環境整備事業について、意見を求める。

【和栗昌夫委員】

当初募集の際と全く同じ内容になっている。

【外立軍一郎会長】

全く同じだが、事業の内容及び実施方法に補足説明があった。

こちらで減額する必要があるものを減額して、採択するのも一つの方法であると思う。

靴を減額するといくらになるか。

【岡秀實委員】

個人にあげるのではないので、このままでもいいのではないかと。

【和栗昌夫委員】

私は毎回言うけど、スキーはいいと思うが、シューズは本人に合わないといけない。

【岡秀實委員】

でも次の子供に貸し出ししている。個人に渡してないのでいいと思う。備品台帳までちゃんとつけてある。

【池田三委員】

私もこの件に関してよく分からなかったので、代表者のところへ聞きに行った。子供たちの足も大きさがどんどん変わっていくので、もともとの靴もとってある。当然小さな子供たちに合わせてあげる。靴は個人にあげるのではなく、管理はクラブで行ってい

る。少々大きな靴でも小さな足の子には、靴に何かを入れたりして利用している。確実に個人の子供たちにあげているのではないという話を聞いてきた。

それと今回シューズであがっているが、去年はブーツで認めてもらっている。スキーは夏用のトレーニング用のものである。スキーと一体物かと聞いたら、そうではないという回答だった。ブーツとシューズと名前が違うだけで、全く同じだということだった。前回よくて今回駄目だということも納得できないというようなことも言っておられた。

【和栗喜栄委員】

前回良かったけど、今回駄目だったというのは、毎年同じような内容で提出しているからという意味も含めて、不採択になったかと思う。2回、3回連続で提案しているという話をお聞きした。

【外立軍一郎会長】

安塚スキークラブからは、そういった備品の申請はない。

【小松光代委員】

安塚スキークラブは、基本的に個人で使用するものは提案されていない。みんなで使用するものだけである。

【蓑輪所長】

今いろいろ議論が出ているが、最初の申請の金額と見積も見ていただくと、全部同じだ。当初募集で不採択にして、追加募集で提案したら同じ内容で採択というのは、果たして審査の公平性という面でいかななものかを感じる。

【外立軍一郎会長】

私もそう思うが、少し内容について検討した方がいいと思う。当初募集は不採択で、追加募集は予算があるから100%採択されるとなるといかがかと思う。

【池田三委員】

過去にそういうものがあって、私も相当怒られた経緯はある。

【外立軍一郎会長】

事務局シューズ代は全部でいくらになるか。

【高橋主任】

シューズ代の合計は28万7700円である。

【長谷川直樹委員】

シューズ代の1割から2割減額でどうか。

【山岸重正委員】

それでは意味がない。

【長谷川直樹委員】

主に個人が使うのであれば、1割から2割ぐらいは個人負担をしてもらうという考えである。

【山岸重正委員】

そうすると、個人にあげるようになる。主旨がまるっきり違うとならないか。

【和栗昌夫委員】

今までもシューズ関係はゲートボール等でも出てきたし、シューズ関係は全て駄目だということで進んできたと思う。

【長谷川直樹委員】

現にシューズはクラブで管理するとなっているのだから、シューズについては個人負担となるが、実情も聞いたうえで値段も高いので、せめて1割くらい個人でもいいし、スキークラブで負担していただきたいという付帯意見をつけて、賛同したらどうか。

【和栗昌夫委員】

それでは、今までと同じ気がする。同じ申請に対して認めるか認めないかという話なのだから。

【山岸重正委員】

駄目なものは駄目で外した方が良い。

【長谷川直樹委員】

今までは地域活動支援事業については、なんとか認めてあげようという方向もあったかと思う。

【和栗昌夫委員】

当初募集では、予算なくて不採択としたのではない。予算があるけど不採択とした。今回は状況が逆になると思う。

【山岸重正委員】

1割とか2割負担ではなくて、削るべきものは削るべきだと思う。

【池田三委員】

子供の団体の一番大事な何かというと、子供の育成だと思う。これを見逃してしまうと、我々の見られる目が変わってくるかと思う。私は子供の育成が大事だと思うし、そういったことも考えてほしい。

【和栗喜栄委員】

私も池田委員が言われるように、子供の育成だと思うが、育成だと言ってやっても数少ない人たちで大勢育てていける体制ができていればいいが、まだそこまでできていない気がする。毎年同じように提案して、ほとんど採択されている。それでも今年も提案してきているから、少し考えたほうがいいかと思う。

【外立軍一郎会長】

子供の健全育成も分かるが、私たちも予算を余らせてまで残念ながら不採択としたのだから、それを二次募集ではすんなりというわけにはいかない。皆さんからもう少し審議いただいたらどうか。

【岡秀實委員】

代表の吉野さんは、学童のスキー指導を33年間やっている。歴史は長いし指導にあっている吉野さんもかなり自己資金を費やしている。そういうことを考えれば、子供の育成というのは親が全て負担するわけにもいかないし、ある程度支援してあげたらいいと思う。

【長谷川直樹委員】

私も岡委員と池田委員の意見に賛同する。小学生が8人いる。今までの古いスキーなどもあるけれど、この地域活動支援事業がないとこの子供たちはスキーができなくなる。そして中学生については上越強化指定Bになっている。私たちの面子もあるが、面子については今言ったようにシューズ28万円のうち1割はスキークラブで負担するという形で採択したらどうか。まるっきり不採択にするのではなくて、ある程度私たちの面子もたつのではないのでしょうか。

【山岸重正委員】

面子なんていない。今まで決めてきたことに準じていかなかったら、それこそ面子がなくなると思う。面子とは、そんなものだ。これは面子の問題ではなくて、今までゲートボールのときも削っているわけだから、そういうのも参考にしてやっていかなければいけないと思う。

【長谷川直樹委員】

ゲートボールのときは、個人負担分を削っただけであって、全額削ったわけではない。

子供の育成でこのシューズの値段をみると値段が高い。それが個人負担になると、全て親が出さなければいけない。

【山岸重正委員】

減額になっても行おうと書いてある。

【外立軍一郎会長】

市民生活・福祉グループ長にお聞きしたいのだが、学校等の整合性とかないのか。信越大会とか、どのような形で行くのか。昔小学校がいっぱいあった頃は、それぞれの家が負担して学校単位で遠征した。

【蓑輪所長】

学童の大会はある。学校の名前でないと参加できないというのが実態である。

【外立軍一郎会長】

前にスノーモービルを地域活動支援事業で整備した。

長谷川委員の1割という意見もあるし、減額という意見もあるし、最低でもシューズの50%は削らないと採択することに問題があるという感じもする。実際にお金がかかるということは事実かと思う。

【蓑輪所長】

こちらの団体の事業を縮小してというのは、その決定した金額に合わせた事業に見直して事業を再構築するという事で、例えば今の何割かという話の中で、何割か負担して事業を行うということではなさそうだ。採択された金額を見て、例えば台数を減らすとか、事業の内容を再構築してという事業の組み方というふうに理解している。

【和栗喜栄委員】

事業の50%減なら賛成する。

【池田三委員】

先程からいろいろなご意見が出ているので、シューズ分だけ28万7,700円減額したらどうか。

【山岸重正委員】

私はその方がいいと思う。

【小松光代委員】

私は減額するなら大雑把に半額とするのではなくて、シューズ分の28万7,700円この分だけ除いて採択ということにすると、きちんとした金額になるかと思う。

【外立軍一郎会長】

そうなるときちんとした区分もできるし、そうさせていただくか。

【池田三委員】

説明も成り立つと思う。

【和栗昌夫委員】

そうなるとう35万8,000円になる。

【外立軍一郎会長】

皆さんの意見を全て反映できればいいのだが、進行が下手なもので申し訳ないが、今小松委員の話があったので、28万7,700円を減額するというのでいいか。

(「はい」の声あり)

【長谷川直樹委員】

2次募集の受付のときに説明したのか。

【小林次長】

求められた部分については答えた。

【外立軍一郎会長】

続いて、12.2点の高齢者対策事業について、意見求める。これも地域活動支援事業から助成すべきでないと思う。

【和栗喜栄委員】

これは大変なことになると思う。これは申し訳ないけど不採択にさせてもらったほうが良いかと思う。

【中島勝義委員】

これは本当に採択してあげたいと思うが、お寺の椅子ではないか。

【小松光代委員】

お寺で使う椅子だが、これを集会所に置いて安塚長寿会が使用することになっている。

【長谷川直樹委員】

2階が和室になっている。

【和栗昌夫委員】

事業開催地は集会所だけではないだろう。開催地に椅子を運ぶのか。

【山岸重正委員】

そういう場合もあるという書き方である。

【外立軍一郎会長】

安塚で36万円だから、これだけ戸数が多い集落がないから、これ以上高い申請が出てくるはずはない。可能性はあるかもしれないが。

【中島勝義委員】

安塚長寿会とは、老友会のことか。

【外立軍一郎会長】

そうである。

【中島勝義委員】

集落で申請してもらった方がありがたい。

【和栗昌夫委員】

こんなに高いものが必要だろうか。

【小松光代委員】

安全性を考慮したのか。

【山岸重正委員】

お寺で使用するものだから高いのだと思う。

【外立軍一郎会長】

4から5千円で購入できるものもある。

【池田三委員】

安塚長寿会は安塚町内会と牧野町内会と一緒にしているのか。

【外立軍一郎会長】

一緒にしている。

【池田三委員】

管理体制はどうなるのか。

【中島勝義委員】

安塚の集会所で保管するのだから、町内会で提案してもらえばいい。

しかし、採択する方向でどうか。この地域活動支援事業でなければ補助できるところはないと思う。

【數井憲一副会長】

この事業は採択するべき内容ではないと思う。

【和栗昌夫委員】

内容を検討すべきだと思う。

(「高すぎる」との声あり)

【外立軍一郎会長】

現段階で、残金がいくらか。

【小林次長】

171万円である。

【中島勝義委員】

お年寄りが地域活動支援事業で椅子を整備したと話すと、来年からたくさんの提案が来るかもしれない。

【和栗喜栄委員】

大いにしてよくある話だ。

【中島勝義委員】

そのようなことが考えられるし、お年寄りばかり使用するものではないので、先ほどから言っているが、安塚町内会で提案してくれば良いと思う。

私は採択に賛成である。

【和栗昌夫委員】

お年寄りだけではないとなると、この椅子は不適合である。一般の方が使うような椅子が良いと思う。

【山岸重正委員】

そういった意見を付帯意見としてもよいと思う。

【和栗喜栄委員】

不採択にして内容を見直してもらえばよい。

【和栗昌夫委員】

価格の安いものになると、もっとたくさん購入できる。

【外立軍一郎会長】

提案されている椅子は、折り畳みでないようだが、収納は大変ではないか。

【和栗昌夫委員】

重ね置きはできるようだ。

私は、採択しても良いと思うが、この椅子は検討いただきたい。

【和栗喜栄委員】

集落にこんな高い椅子が本当に必要だろうか。

【長谷川直樹委員】

ここで不採択にすると他の集落から提案があっても採択できない。

【和栗喜栄委員】

そういうことになる。

【小松光代委員】

足や腰が悪い人たちには、こういうものがあると非常に良いと思うが、あまりにも高級なので。

【和栗昌夫委員】

会議用の椅子ではなく、お寺用の椅子である。

【外立軍一郎会長】

挙手方式をとりたい。反対の方、挙手をお願いする。反対の方は4人なので、採択とするが、よいか。

(「はい」の声あり)

次に、イベント資材整備費支援事業だが、残額の135万円でよいか。

(「はい」の声あり)

【數井憲一副会長】

2次募集というのは、お金が余ったのでまだやりたい人を募るのが2次募集である。要項の中には補助率は原則100%とするとある。うちの団体はお金はないが、提案してみようという団体が多いと思う。減額されれば駄目だというのは、この要項からするとちょっとおかしいのではないかという気がする。今12.2点のものを採択するのも少し気にかかる。来年の皆さんで検討いただければと思う。

【岡秀實委員】

文書だとなかなか理解できない部分がある。

【外立軍一郎会長】

上越市内でも相当数の地域協議会で、2次募集をしている。

【蓑輪所長】

内容をお聞きすると、説明を直接聞いたり質問をしたりしながらという部分は、やはりプレゼンをすることが必要だと思う。プレゼンをすることで、不採択にするのは申し訳ないという考え方ではなくて、皆さんから十分理解していただくという意味で、プレゼンというのを前向きに検討いただいたほうが、いいのではないかと思う。

【長谷川直樹委員】

上限を設けた方が良くはないか。200万円の提案がいくつあると、2つくらいしか採択できない。

【山岸重正委員】

それは、規制がないから仕方ない。

【蓑輪所長】

地域協議会で決めていただければよい。柿崎は大勢の方から利用いただきたいということで、上限150万円で決めたと思う。それは皆さんで決定していただければ、安塚

区の採択方針ということで良いかと思う。

【和栗昌夫委員】

今日のようにある程度協議して決めるのであれば、わざわざ採点を事前にする必要がない。そうでなければ、この採点結果に基づいた審査をお願いしたい。

【外立軍一郎会長】

来年に向けて事務局で課題整理していただきたい。

今までの地域活動支援事業に関する採択等については、皆さんから決めていただいた通りでよいか。

【小林次長】

会長、事業ごとの確認をさせていただきたい。

イベント資材整備費支援事業については、市の支払額が135万円で採択。直峰城跡パンフレット作成事業については、13万円で採択。ジュニアクロスカントリースキー選手育成のための環境整備事業は、35万円で採択。高齢者対策事業は、36万円で採択。小黒自治会高齢者いきいき支援事業は、不採択。防火施設整備事業は、28万円で採択。円平坊文化伝承事業は、14万円で採択。Wi-Fi環境整備事業は、不採択。ノルディックウォーキングで健康づくり事業は、34万円で採択。沼木の里づくり推進事業は、25万円で採択。合計が320万円でよいか。

それと、付帯意見はどうするか。減額分のところについて、ジュニアクロスカントリースキー選手育成のための環境整備事業は、シューズを除くという形で、沼木の里づくり推進事業は、消耗品相当の部分を減額という形でよいか。

(「はい」の声あり)

【外立軍一郎会長】

イベント資材整備支援事業については、特に付帯意見は要しないか。

【山岸重正委員】

特にいらないと思う。

【外立軍一郎会長】

付帯意見については、次長がお話ししたとおりでよいか。

(「はい」の声あり)

【小林次長】

防火施設整備事業について、所見ということで課題はないのだが、水路を堰き止める関係もあるので、関係者との協議状況が必要との見解なので、付させていただきたいの

で、ご了承いただきたい。

【外立軍一郎会長】

ぜひ、お願いしたい。

【小林次長】

もう1点お願いしたい。採択しない2事業について、採択しない理由として、皆さんのご意見を諮る必要があるということなので、採択基準に満たないためということでしょうか。

【外立軍一郎会長】

そうしていただきたい。

協議事項（2）安塚区地域協議会としての審議内容について、事前の提案があったか事務局に確認を求める。

【小林次長】

事前の提案がない旨を説明

【外立軍一郎会長】

ほかに提案がないか求める。

報告事項（1）下水道使用料及び農業集落排水施設使用料の改正について説明を求める。

【竹内建設グループ長】

資料 No.2により、下水道使用料及び農業集落排水施設使用料の改正について説明

【外立軍一郎会長】

意見を求める。

【和栗昌夫委員】

水道の関係だが、水道のメーターの変更は、水道局へ連絡しないと変更できないのか。それとも、業者へお願いすればよいか。二本木の集会所だが、前は保育所として利用していたために口径20mmで入っている。それが、今まで20mmの基本料金を払っているのに、それを13mmにしてほしいということを業者に連絡したが、3年経ってもやってくれない。正式に届出をしないとやってもらえないのか確認したい。

【竹内建設グループ長】

ガス水道局が担当しているので、確認し連絡する。

【外立軍一郎会長】

ほかに意見を求める。意見なし。

その他、事務局に連絡事項を求める。

【高橋主任】

- ・平成27年度安塚区地域協議会視察研修について説明

【外立軍一郎会長】

次回開催日については、お盆明けの8月17日の週で調整し後日通知する。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

安塚区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-592-2003（内線23）

E-mail: yasuzuka-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。